

事業概要

1. 事業目的

本市は、あぶくまクリーンセンターとあらかわクリーンセンターの2施設体制で市内の可燃ごみの処理を行っているが、あぶくまクリーンセンターは竣工後30年以上が経過し老朽化している。本市では、東日本大震災の経験を踏まえ、一時的に大量の災害ごみが発生しても対応可能となるよう、2施設体制を維持することとし、老朽化したあぶくまクリーンセンターを再整備する。

本事業は、ごみ処理体系の変更は行わず現在の施設の課題を解決し、循環型社会・低炭素社会の形成に寄与する機能を備えた整備を目指すとともに、本施設とあらかわクリーンセンターが相互に機能を補完できるよう考慮したものとする。また、処理に伴う環境負荷を可能な限り低減するよう、処理施設の適正な維持管理、整備等を継続するものである。

本市は、施設整備にあたって次の基本方針を定めている。

(1) 安全・安心な環境にやさしい施設整備

- 1) 最新技術の導入も検討し、安全かつ安定的で衛生的な処理が行える施設とします。
- 2) 高度な公害防止設備を設置し、市民が安心して生活できる生活環境を保全します。また、温室効果ガスの発生を抑制し、自然環境への負荷を低減します。
- 3) 災害に強く長期間の稼働に耐えうる施設とします。

(2) 循環型社会・低炭素社会の形成に寄与する施設整備

- 1) 施設で発生する余熱を積極的に回収し、発電等による有効利用を図ります。
- 2) 既存の余熱利用施設との連携を、円滑で効率的なものとし、安定した熱供給を行います。
- 3) 施設で発生する排出物の減容化・再資源化を検討し、最終処分場の延命化を図る施設とします。

(3) 周辺環境と調和した施設整備

- 1) 周辺環境と調和した色彩、デザイン等により、景観に配慮した施設整備を図ります。
- 2) 利用者の立場に立った小動物焼却施設の整備も図ります。

(4) 市民との共創による施設整備

- 1) 地元住民との協議・情報共有により、信頼関係に基づく施設整備を図ります。
- 2) 利用者をはじめとした市民の意見を反映し、施設の動線・配置計画を検討し、安全で利便性の高い施設整備を図ります。
- 3) 既存施設の内、建設予定地に配置されているヘルシーランド福島の駐車場の再整備も検討します。

(5) 経済性に優れた施設整備

- 1) 過大とならない施設規模の検討や、効果的な設備の選定を行い、費用対効果の高い施設とします。
- 2) 建設費及び維持管理費を含めた全体的な費用の縮減を図ります。
- 3) 国の交付金制度を最大限活用できる施設の整備を検討します。

2. 事業概要について

本事業の概要は以下の通りである。また、整備に係る詳細は資料3に示すこととし、運営に係る詳細は「3. 運営業務について」に示す。

| 項 目 | 概 要 |
|------------------|---|
| 事 業 名 | 福島市あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業 |
| 事業実施場所 | 福島市渡利字梅ノ木畑地内他 |
| 入 札 公 告 | 令和4年9月下旬 |
| 本 契 約 | 令和5年9月下旬 |
| 民間事業者の 業務及び期間 | 設計・建設業務：契約締結日から令和10年3月31日まで 運営・維持管理業務：令和10年4月1日から令和30年3月31日まで ※設計・建設業務は新施設の工事期間を示しており、今後の検討によっては管理棟建設を令和10年度に実施することがある。 |
| 主 要 な 施 設 | ア 配置施設 ・工場棟、管理棟、計量棟、洗車場、小動物火葬場、仮設ストックヤード イ 附属施設 ・構内道路、門扉、囲障、駐車場、植栽等その他関連する施設や設備等 |
| 処 理 方 式 | ストーカ式焼却方式 |
| 処 理 対 象 物 | ①可燃ごみ ②可燃性粗大ごみ ③資源化工場処理後の可燃物 ④し尿処理汚泥（脱水汚泥） |
| 供 用 開 始 | 令和10年4月1日 |
| 施 設 規 模 | 120 t / 日（60 t / 日 × 2 炉、24 時間稼働） |
| 事 業 方 式 | DBO方式 |
| 発 注 方 式 | プロポーザル方式または総合評価一般競争入札方式 |
| エネルギー回 収率 | 循環型社会形成推進交付金制度におけるエネルギー回収型廃棄物処理施設（交付率 1/2）の交付要綱に従い、18%以上とする。 |

3. 運営業務について

運営業務にかかる事業者と市の業務範囲は以下を想定する。また、業務範囲のイメージ図を次ページに示す。

(1) 事業者が行う範囲

- 運転、維持管理、補修及び設備の更新業務
- 電力・余熱の資源化工場及びヘルシーランドへの供給
- 焼却灰や有価物等の積み込み
- 運営管理に係る日報、月報及び年報等の作成、その他統計事務の実施及び各種報告書等の作成
- 有害鳥獣（イノシシ等）の処理
- 運営管理に必要なユーティリティ（燃料、薬剤等の調達等含む）の調達
- 見学者対応
- 地域住民及び行政視察対応への協力
- 精密機能検査の実施
- 敷地内の建築物及び建築設備、道路、植栽等付帯施設の維持管理
- 清掃、警備、防犯などの付帯業務の実施
- 電力契約、発電および売電に係る諸手続き（系統連系、検査等）
- その他上記の業務を実施する上で必要な業務

(2) 市が行う範囲

- ごみの収集及び搬入
- 受入・計量業務
- 搬入受付、料金徴収
- 小動物の受入、火葬、遺骨返還
- 管理棟の管理
- 見学者対応への協力
- 地元住民への対応（地元との協議会、苦情対応等）、行政視察対応
- 事業者の業務内容の監視業務
- 焼却灰等の福島市新最終処分場への運搬及び処分
- 有価物の運搬及び売却
- モニタリングの一環としての環境計測
- 資源化工場及びヘルシーランドの管理運営

